

教育目標

自ら学び、心豊かでたくましく、ともに生きる

うれ 備えあれば憂いなし

「備えあれば憂い(うれ)いなし」という言葉を知っていますか？
「普段から準備をしておけば、いざという時に心配や苦労がない」という意味のことわざです。

近年、日本各地で地震や大雨などの自然災害が相次いでいます。香川県では取水制限がかかるなど渇水が発生しています。災害は、ある日突然、私たちの日常を奪っていきます。だからこそ、学校だけでなく、それぞれの家庭での「備え」がとても重要になります。

では、中学生の皆さんにできる「備え」とは何でしょうか。

まずは、次の3つのことを家族で確認してみてください。

- ・避難場所の確認: 災害が起きたとき、どこで合流するか決まっていますか？
- ・非常用持ち出し袋の点検: 水や非常食の賞味期限は切れていませんか？
- ・家具の固定: 自分の部屋のタンスや本棚は倒れてこないようになっていますか？

中学生は、災害時に「守られる側」から「地域を支える側(共助の担い手)」になれる年齢です。まずは自分と家族の身を守るため、家族と防災について話し合ってみてください。

同じことが学習面でも言えると思います。ここで言う「備え」とは、テストの直前に慌てて徹夜をすることではありません。

- ・準備物をしっかり整えること
- ・授業をしっかりと聞くこと
- ・毎日、授業のノートを見返すこと
- ・宿題のワークをコツコツ進めること
- ・分からないところを先生や友だちに聞いて解決しておくこと

これらすべてが、立派な「備え」です。

「テスト直前になって、何から手をつければいいのか分からない……」
と憂(うれ)うのか。それとも、「これだけ準備したから大丈夫！」
と自信を持ってテストに向かうのか。それを決めるのは、今、**みなさんが継続して行っている小さな積み重ね**です。

「**憂い**」を「**自信**」に変えられるよう、今から一歩ずつ、テストへの「備え」を始めていきましょう。

特に3年生は、進路選択の時期となります。夏休みに参加したオープンスクールを思い出したり、高等学校の資料をしっかりと活用したりして、納得できる進路選択をしてください。1・2年生にも言えますが、自分の進む道は自分で決めたら後悔しないと思います。そのための「**備え**」をしていきましょう。

保護者の皆様も生徒の進む道に対する助言や応援をこれからもよろしくお願いします。

